

令和6年度

とやまスタートアッププログラム in 東京



**TOYAMA
STARTUP
PROGRAM**
in TOKYO

PROJECT REPORT

成果報告書

令和 6 年度
とやまスタートアッププログラム in 東京 成果報告書

◆ 知事・講師からのメッセージ	3
◆ プログラム概要	4
◆ プログラムの様子	5
◆ DEMO DAY 2025	6
◆ DEMO DAY 2025 優勝・準優勝者からのコメント	14
◆ 受講生からのコメント	15

知事メッセージ



富山県知事
新田 八朗

富山県が令和4年2月に策定した「富山県成長戦略」の柱には、自分らしく生き生きと生きられること、主観的な幸福度を重視した、真の幸せ「ウェルビーイング」の向上を据えています。暮らしのなかの真の幸せを実感し、誇りと愛着を持つことができる富山県、また、そういう富山県に引き寄せられて、多様な人材が集積する「幸せ人口1000万〜ウェルビーイング先進地域、富山」の実現を目指しています。

そのための施策の柱の一つとして、スタートアップ支援を掲げており、核となる突き抜けた人材が県内でのびのびと活躍しやすくなるよう環境整備を進めています。起業家が生まれ、成長できる環境を構築し、移住者を含めた多様な人材による活発な創業を促進していきます。

本県が全国の自治体としては初の取組みとして開始した、東京で移住と起業を併せて支援す

るこの「とやまスタートアッププログラム in 東京」も重要な支援施策の一つです。第6期生の皆様には、起業家教育の第一人者で本県出身の熊野神戸大学教授の熱意あふれる指導のもと、7か月間、日々研鑽に努められ、講義や実地研修等を通じてビジネスプランを磨き上げられました。

本プログラムの実施にあたり、熊野先生をはじめ、ご協力をいただいた講師陣、県内企業、関係の皆様へ深く感謝申し上げます。最終発表会の優勝者ほかファイナリスト5組、そして受講生の皆様全員が、本県においてビジネスプランを実現し、大活躍されることを大いに期待しています。県としても全面的にバックアップしていきますので、ぜひチャンスがあり、夢を叶えることができる富山県で、共に、ワクワクする新しい未来をつくっていきましょう。

講師メッセージ



とやまスタートアッププログラム in 東京 監修
神戸大学 産官学連携本部 教授

熊野 正樹 (富山県出身)

日本政府は、「スタートアップの育成」と「地方創生」を国家戦略の重要な柱として位置付けています。我が国が目指すべき姿として、「我が国の経済成長の起爆剤」となり、「世界共通の社会課題の解決に貢献」するスタートアップが、自発的・連続的に創出する社会の実現を目指しています。政府は2022年を「スタートアップ創出元年」と位置づけて、スタートアップの育成を本格化しています。また、地方創生の観点からも、地域での有望な起業家の発掘に可能性を見出し、地方から世界市場を目指すスタートアップへの期待は非常に高まっています。

一方、地方創生の鍵は、若者の地方への定住であり、そのためには、若者の仕事が地方に必要なようになってきます。若者の仕事が地方に十分になるのであれば、自ら起業して、地方に魅力ある仕事を創るということもその解決策となります。

このような中で、本県への移住・起業を希望する富山県外在住の若者を対象とした起業家育成講座「とやまスタートアッププログラム in 東京」は、全国初となる非常に意義のある取り組みです。

スタートアップ人材においても、東京一極集中と言われますが、東京が地方出身者の集まりだとするならば、一定数は富山県出身者や富山にゆかりのある方であり、実際にそのような優秀な方が多数受講され、富山での起業に向けて、大変熱心に、かつ楽しくプログラムが進行いたしました。

多様な受講者によるコミュニティが形成され、富山県や県内企業、ベンチャーキャピタル等の支援企業の協力により、富山県におけるスタートアップエコシステム構築の大きな一歩を踏み出しています。この取り組みを一層強化し、富山から日本を、そして、世界を変えるスタートアップが創出されると信じています。

プログラム概要



富山県では、国の起業支援金（東京23区からの移住・起業で最大300万円支給）制度の創設を受け、全国の自治体としては初めて、富山県へ移住し起業を希望する方を支援するため、東京都内での起業家育成プログラム『とやまスタートアッププログラム in 東京』を令和元年より開講しています。

昨年度に引き続き、県内のスタートアップ機運醸成及び東京・富山のネットワーク強化を図るため、県内においても同時開講しました。

令和6年7月13日（土）より開講。講師には起業家教育の第一人者である神戸大学 産官学連携本部 熊野 正樹 教授（本県出身）を迎え、19名（受講生+協賛企業参加枠1名）の受講者でスタートしました。

6期受講生概要：＜内訳＞計19名

受講期間：令和6年7月13日（土）～令和7年2月15日（土）※全8回

募集期間：令和6年5月15日（水）～6月30日（日）

対象：県内もしくは県外在住で、本プログラムを受講後2年以内（学生の場合、卒業後2年以内）に富山県で起業し、移住を希望する概ね18歳から40代の方

受講料：1万円（税込）

スケジュール

回	実施期間	開催場所	講義内容
1	2024年7月13日（土）	東京	＜開講式＞起業マインドの醸成、オリエンテーション
2	2024年8月17日（土）	東京・富山	ビジネスプランの検証、ビジネスプラン作成講義
3	2024年9月14日（土）	東京・富山	ビジネスプランの検証、ビジネスプラン作成講義
4	2024年10月5日（土）	東京・富山	ビジネスプランの検証、ビジネスプラン作成講義
5	2024年11月2日（土）	東京・富山	ビジネスプランの検証、ビジネスプラン作成講義
6	2024年12月7日（土）・8日（日）	富山	ビジネスプランの検証、副知事講評・交流会
7	2025年1月11日（土）	東京・富山	ビジネスプラン発表、セミファイナル
8	2025年2月15日（土）	東京	＜DEMO DAY 2025＞ ベンチャーキャピタル等を招聘したピッチ大会 ＜修了式＞及び＜交流懇親会＞

プログラムの様子

東京・富山をオンラインでつないで同時開講





とやま
スタートアップ
プログラム in東京

DEMO DAY 2025



日時 2025年 2月15日 土 13:00—16:30
会場 AgVenture Lab (東京・大手町)
主催 富山県

とやまスタートアッププログラム in 東京 DEMO DAY 2025

主 催



GOLD SPONSOR



NORINCHUKIN

農林中央金庫

SILVER SPONSOR



北陸銀行

BRONZE SPONSOR



INTEC
TIS INTEC Group



富山第一銀行



NIHONKAI
Lab.



北陸電力グループ

会場協力



Ag Venture Lab

(※五十音順)

TOYAMA STARTUP PROGRAM in TOKYO DEMO DAY 2025

【主 催】

富山県

【会 場】

AgVenture Lab

東京都千代田区大手町 1-6-1 大手町ビルディング 9 階

【問い合わせ先】

富山県 商工労働部 地域産業振興室 スタートアップ創業支援課

Tel: 076-444-8908 Email: achiikisangyoshinko@pref.toyama.lg.jp

とやまスタートアッププログラム in 東京 DEMO DAY 2025について

「スタートアップの創出」に力を入れる富山県では、地方の自治体としては全国初となる都内での起業家育成プログラム『とやまスタートアッププログラム in 東京』を開講しています。

昨年度に引き続き、県内のスタートアップ機運醸成及び東京⇄富山のネットワーク強化を図るため、県内においても同時開講しました。

本プログラムの集大成として、ファイナリスト5チームが発表する DEMO DAY を実施します。

審査にあたっては、スタートアップへの投資判断をベースに①市場性、②独創性、③実現可能性、④富山県（社会）へのインパクト、⑤プレゼンテーションの内容の5つのポイントを重視します。



プログラム Program

- 13:00 — 開会挨拶
- 13:05 — 審査員紹介・審査基準発表
- 13:10 — ビジネスプラン発表(5組)
- 14:30 — 前年度優勝者の報告
- 14:40 — 休憩
- 15:00 — 基調講演
- 16:00 — 表彰式
- 16:25 — 閉会挨拶
- 16:30 — 終了

賞 Awards

- 優勝
- 準優勝
- 協賛企業賞

基調講演 Keynote speech

「プロ投資家が考える
“地域発”イノベーションの秘訣」



藤野 英人 Hideto FUJINO

レオス・キャピタルワークス株式会社
代表取締役社長 CIO

野村投資顧問(現：野村アセットマネジメント)、ジャーディンフレミング(現：JPモルガン・アセット・マネジメント)、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントを経て、2003年レオス・キャピタルワークス創業。中小型・成長株の運用経験が長く、ファンドマネージャーとして豊富なキャリアを持つ。投資信託「ひふみ」シリーズ最高投資責任者。投資啓発活動にも注力する。東京理科大学上席特任教授、叡啓大学客員教授、淑徳大学地域創生学部客員教授。

ファイナリスト Finalists

**AI Talentee (タレンティー)**

カルチャーフィットで企業と就活生をつなぐ
マッチングプラットフォーム事業

碓井一平／永平章太

AI Talentee は、データ分析と AI 活用により、学生と企業をカルチャーフィットでつなぐ、新しい採用プラットフォームです。採用・就活の既存構造をアップデートし、地方の人手不足を解消します。

**ToYAMA**

インバウンド向け日本の秘宝体験マッチング事業

鶴見真子

インバウンド向けに、認知度が低い地域の高付加価値コンテンツの体験を提供します。ニーズに合わせて体験当日にアテンドが可能な事業者と翻訳者を自動マッチングすることで実現します。

**House folder**

新築住宅営業スタッフ指名型マッチング事業

清水英之

新築注文住宅の営業スタッフが新規客から選ばれる新たな顧客獲得チャネル。効率的な信頼構築で新規開拓の負担を軽減し、成約数増加を支援します。

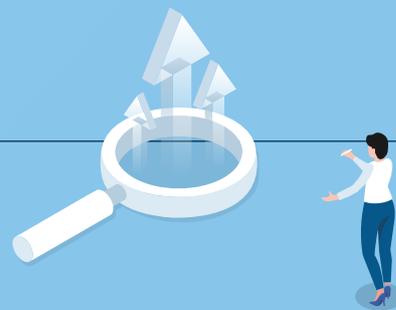
**PocketPort**

クルージングレジャーのマッチングプラットフォーム事業

三宅剛平／安田和義／金野元洋

出航頻度が低くなっているクルーザーオーナーとクルーザーに乗りたいゲストをマッチングする事業

ファイナリスト Finalists



Project O

日本の装飾でファンをつくるブランド価値向上事業
和田瞬佑

日本の工芸職人チームが、装飾技術を活用して企業のブランディングを支援。商品や空間に唯一無二の価値を提供し、ファン獲得とユーザー満足度向上を実現します。

前年度優勝者の報告 Report of the previous year's winners



TherapEase

遠隔リハビリテーション事業
伴大輔

リハビリ難民に陥りやすい有料老人ホームなどの施設入居者に対するサービスです。日本初の在宅リハビリテーションデータベースを使用して、リハビリ職が少ない地域や施設でもエビデンスを担保した遠隔リハビリテーションを実施することでウェルビーイングの向上を図ります。

2024年3月に富山県に移住。同年7月に富山県で法人設立。





植嶋 徹 Toru UESHIMA

株式会社北陸銀行
コンサルティング営業部 推進役

1990年、東京銀行(現三菱UFJ銀行)入行、グループの証券会社(現三菱UFJモルガンスタンレー証券)にて10年間の営業・トレーディング業務を経て2008年から三菱UFJキャピタルにてベンチャー投資に従事。キャピタリストとしてリード案件6件(うち2件がIPO実現)を含む30件以上に投資。その後、保育系ベンチャーに転職、取締役CFOを3年歴任、2023年5月から現職。



荻野 浩輝 Koki OGINO

一般社団法人 AgVenture Lab 代表理事理事長
農林中央金庫 特別参与

1990年4月、農林中央金庫入庫。2000年にカリフォルニア大学バークレー校でインターネットビジネスを学ぶ。システム企画部・リスク管理業務・データマネジメントの責任者を経て、2017年7月のデジタルイノベーション推進部新設とともに現職。併せて農業や社会の課題を解決するイノベーションの創発のため2019年5月に設立されたJAグループのオープンイノベーションラボ「AgVenture Lab」の代表理事を務める。



尾崎 千紘 Chihiro OZAKI

株式会社環境エネルギー投資
投資部 キャピタリスト

投資銀行にて日本株・欧州株のリーサーチおよび機関投資家営業に従事後、コンサルティングファームにてPEファンド投資先等のバリューアップや再建支援、経営戦略策定に携わる。その後、IT系VCにおけるFoF出資、アーリー・プレIPO期のスタートアップ出資業務に従事し、現職。





中村 利江 Rie NAKAMURA

エムスリーソリューションズ株式会社
代表取締役社長

富山県出身。「出前館」を上場させ時価総額 2500 億円以上に成長させた、「飲食の DX」の第一人者。2022 年より、「医療の DX」を推進すべく、エムスリー(株)取締役 兼 エムスリーソリューションズ(株)代表取締役。



服部 将大 Masahiro HATTORI

株式会社 AKaFUJI
代表取締役 / マネージングパートナー

2008 に三井住友銀行入行し法人銀行業務に従事した後、2010 年に SMBC ベンチャーキャピタル (株) へ創業メンバーとして出向。リーマンショック直後の VC 投資氷河期から 2018 年までの在籍期間中、シードからレイターまで累計 45 社、30 億円超の投資を実行。その後、日本とシリコンバレーで VC 投資を行う DNX Ventures へ参画し主にインダストリー SaaS 領域で 10 件、20 億円の投資を実行。2020 年 1 月から W fund にパートナー (GP) として参画し 25 社へ投資し、2025 年 2 月 VC として独立のため株式会社 AKaFUJI を設立。これまでに投資支援先 8 社が IPO を果たす。



山室 芳剛 Yoshitaka YAMAMURO

富山県
商工労働部長

2006 年、経済産業省入省後、法人税制やデジタル産業政策、環境産業政策、ジェトロバンコク駐在、世界経済フォーラム 4IR 日本センター長などを経て、2023 年 7 月より富山県に赴任。2024 年 4 月から富山県商工労働部長。東京大学卒、ハーバード大学行政学修士。



「とやまスタートアッププログラム in 東京 2025」の様子

—令和7年2月15日(土)—





DEMO DAY 2025 GrandPrix 優勝 VOICE

<優勝> ToYAMA / 鶴見 真子

インバウンド向け日本の秘宝体験マッチング事業

とにかくアウトプットを続けることで、事業を通して自分が大切にしたいことや、事業の強みや特徴をシンプルな言葉で表現できるようになりました。毎月1回、富山の同志とオンラインでつながり、切磋琢磨することでモチベーションを維持することができました。講義でフィードバックをいただく中で、途中でアイデアの骨子が大きく変わりましたが、その過程で自分集めるべき仲間のイメージもより明確になりました。また、2月上旬に実施された集中合宿では、アイデアを論理的に整理し、プレゼン資料に落とし込むことができました。チームメンバーと意見を交わしながら完成させることができ、とても達成感がありました。最終的に DEMO DAY で優勝することができましたが、その賞に恥じ

ないよう、今後の活動にも力を入れていきたいと強く感じています。

このプログラムを通じて、アウトプットを積み重ねることの重要性を改めて実感しました。言葉にすることで考えが整理され、アイデアの本質が見えてきます。また、富山の同志との定期的な交流が、事業への情熱を高め、モチベーション維持にもつながりました。仲間とともに学び、議論を重ねることで、自分の考えに自信を持つことができ、事業の方向性がより明確になりました。

特に、講義や合宿での学びはとても大きかったです。講師や仲間からのフィードバックを通じて、事業の根幹に関わる部分を見直し、軌道修正しながら進める経験ができました。合宿では、アイデアを論理的に整理し、ビジネスプランとし

て具体化する力が養われました。プレゼン資料を作り込む中で、どのように伝えれば相手に響くのかを深く考えることができ、とても良い経験になりました。

DEMO DAY での優勝は、これまでの努力が実を結んだ結果です。しかし、これはゴールではなく新たなスタートだと考えています。今後も事業をさらにブラッシュアップし、実現に向けて全力で取り組んでいきます。優勝にふさわしい成果を出せるよう、引き続き努力を重ねていきたいです。



DEMO DAY 2025 Second Prize 準優勝 VOICE

<準優勝> AI Talentee (タレンティー) / 碓井 一平、永平章太

カルチャーフィットで企業と就活生をつなぐマッチングプラットフォーム事業

まずは、この8ヵ月間、大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。

今回、このプログラムに参加させていただいたのは、自分たちのビジネスに対して第三者から継続的にフィードバックをいただき、事業の解像度を高めるためでした。社内での議論やクライアントへの営業において、自分たちの考えを押し通してしまうこともあり、「これで良いんだ!」と小さな成果に満足してしまうことがあります。我々もまさにその状況に陥っていたのだと思います。そうした甘さにメスを入れていただける機会は、本当に貴重でありたいものでした。1回のフィードバックでは、良くも悪くもその

場を乗り切ることができるかもしれません。しかし、これが毎月続くとなると、そう簡単にはごまかせません。本当の意味で、起業家としての覚悟が試される場だったと思います。その厳しさの中で、自分たちの事業の本質と向き合い、ブラッシュアップし続けることができました。

このプログラムの魅力は、単なるアドバイスの場にとどまらず、継続的に事業を進化させる環境を提供してくれる点にあります。フィードバックを通じて、自分たちの弱点や課題が明確になり、次のステップが見えてくるのは、非常に貴重な経験でした。また、他の参加者との交流を通じて、自分たちだけでは気づけなかった視点

を得ることもできました。

何度でも参加したくなるプログラムでした。フィードバックを受け続けることで、自分たちの事業がどこまで成長できるのかを試してみますし、その過程で起業家としての覚悟もより強固なものになっていくと実感しました。今後も、いただいた学びを活かしながら、さらに事業を発展させていきたいと思っています。本当にありがとうございました。

DEMO DAY 2025 協賛企業賞 受賞結果



日本の装飾でファンをつくる
ブランド価値向上事業
Project 0
(和田 瞬佑)



クルージングレジャーの
マッチングプラットフォーム事業
PocketPort
(三宅 剛平/安田 和義/金野 元洋)



日本の装飾でファンをつくる
ブランド価値向上事業
Project 0
(和田 瞬佑)



インバウンド向け日本の秘宝体験マッチング事業
ToYAMA
(鶴見 真子)



カルチャーフィットで企業と
就活生をつなぐマッチングプラットフォーム事業
AI Talentee (タレンティー)
(碓井 一平/永平 章太)



クルージングレジャーの
マッチングプラットフォーム事業
PocketPort
(三宅 剛平/安田 和義/金野 元洋)

受講生からのコメント



金野 元洋

本プログラムは個人的にかなり刺激を受けました。受講生という肩書きではあったものの、勉強というよりは実践でありスタートアップに関するノウハウを学びました。

自分の持つアイデアを他人（投資家）に対してどうすれば伝わりやすくなり、インパクトを残せるか、最終的には興味を持たせるかをここまで深掘りした経験は今までの人生ではありませんでした。

また、このプログラムを通して関わった受講生たちとは不思議な絆も生まれ、全員が富山で起業することを目指し同じ方向を向いているのはとても励みになり喜びも感じました。またどこかのビジネスで関わっていただけることを期待したいと思います。



清水 英之

とやまスタートアッププログラム in 東京に参加し、毎回講師の方々の具体的な指摘に戸惑うこともありましたが、ファイナリストに選ばれ、自信を持ってプレゼンを行ったことに大きな達成感を得ることができました。他の参加者の事業計画は革新的で魅力にあふれ、毎回刺激を受けながら学ぶことができました。実践的なアドバイス、自分の起業家としての視点や判断力が鍛えられたことを実感しています。このプログラムで得た知識や人脈は、今後の事業の成長にとって大きな財産になると確信しています。今回の経験を踏まえ、富山の強みを反映させた事業づくりに挑戦し、地域の発展に貢献していきたいと思っています。



永平 章太

富山スタートアッププログラムに参加し、単なるビジネスコンテストではなく、講師の方々から多くの学びを得られる貴重な機会だったと感じています。特に、課題とターゲットを明確にするためのヒアリングシートを講師の先生から共有していただいたことで、自分のビジネスを整理し、より深く考えるきっかけになりました。また、仲間と切磋琢磨しながらビジネスについて相談し合えたことも大きな収穫です。最終ピッチでは準優勝という結果を得られましたが、これはあくまで通過点。これからは、現在開発中のサービスをより良いものにし、より多くの人に使用してもらえるよう、さらにブラッシュアップしていきたいと考えています。



伴 大輔

「とやまスタートアッププログラム」は、約8か月にわたり密度の高い支援を受けつつ、時には厳しさを伴うあたたかな指導をいただける場でした。主軸となる毎月のピッチは、自らの事業と真摯に向き合う貴重なステップで、回を重ねるごとに視点が広がっていくのを実感できます。また、同じチームの仲間や他チームの参加者と意見を交わすことで、自然と結束力が生まれ、互いに成長を促し合えたのも大きな収穫でした。講師陣だけでなくスタッフの方々も非常に親切で、励ましの言葉や実用的なアドバイスを惜しみなく提供して下さいます。こうしたサポートのおかげで、起業を目指すうえで最初の一步を踏み出すには最適な学びの場だったと感じています。



三宅 剛平

約8ヵ月間ありがとうございました。

課題の本質から考え、顧客の声に耳を傾ける機会、事業の競争優位性がどこになってくるか考え、これからの施策に反映していく機会になりとても事業を力強くできるプログラムでありました。富山にもマリーナの市場調査で訪れましたが、コンパクトで機能がまとまっていることや自然と調和していること、食、住んでいる人、など街自体にとっても住みたくなると考える要素が多かったです。私は神奈川県からの参加でしたが、富山県には必ず拠点を開設したいと思っています。改めてありがとうございました。



安田 和義

プログラムに参加した当初、これまで自分の中で考えていたビジネスモデルをブラッシュアップすることを想定していましたが、プロダクト生成、POCまでのリードタイム、富山（地元の射水市）へのインパクトを考慮した上でポケットポートのビジネスモデルにチームメンバーとして参加しました。

既に都市圏でビジネスモデルとして確立されているサービスを地方にローカライズし、アセットを有効活用するためには地方の企業や関係者が見ているだけではなく、一緒に関わることが大切であるという点、プログラムの中で他のビジネスモデルを見ていると改めて思い、大切な気づきとなりました。

今回の経験を通じて更に成長し、次のステップに進むためのモチベーションが高まりました。本プログラムに参加できたことに感謝し、今後も挑戦を続けていきたいと思っています。



和田 瞬佑

8か月間プログラムに参加し、多くの学びや刺激を得ることが出来ました。毎月のセッションを通じて、おぼろげだった自分の事業を少しずつハッキリと言語化できていった感覚です。自分の事業をシンプルに表現できるようになったことで、同じ志を持つ参加者のみなさまや協賛企業のみなさまに強く伝えることができました。そのことが強いつながりを得ることに繋がっているなあと感じています。これはきっと顧客やユーザー、投資家とのつながりを獲得するにも大きく役立つ経験だと実感しております。本プログラムで得た経験を活かし、これからも挑戦を続けていきます。貴重な機会を提供して下さった講師・スタッフのみなさまに心より感謝申し上げます。



富山県 商工労働部 地域産業振興室 スタートアップ創業支援課

Tel: 076-444-8908

Email: achiikisangyoshinko@pref.toyama.lg.jp

<https://toyama-startup.com/>

